総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成30年度）

2. 分野別状況 （2）地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(5/7)

	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 （千葉県柏市）	4.0	4.4 進捗度 ・各主体の参画による活動の活性化 108% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 257% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 91% ・虚弱予防活動の展開 89%	3.5 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業 等 地域独自の取組 ・事業推進に向けたプロジェクト連携会議の開催 等	4.0	・数値目標の多くを達成しており、公民学連携による自立した都市経営が順調に進捗している。 ・2018年夏の猛暑にもかかわらず、CO2排出量削減量が当初目標を上回って推移していることは高く評価できるが、その要因の分析を行うことが、他地区へ波及させていくためには重要と考えられる。また、実証実験後も家庭でのHEMSの運用が継続されることを期待する。これらの点も踏まえ、グリーンイノベーション分野としての取組全体が把握できるように複数の評価指標の設定が望まれる。 ・地域の健康・介護分野での公民学連携ニーズを明確にし、顔のみえる関係づくりをもとに、事業所の具体的なヘルスケア・介護サービス事業を支える公民学連携を着実に構築していく実践的な取り組みが期待される。 ・ 財政的措置、税制支援等、低炭素コンパクトシティ、AEMS等の具体的な取り組みを期待したい。